

## 東京2020パラリンピック競技大会の閉幕にあたって

8月24日の開会式から9月5日までの13日間にわたり開催された東京2020パラリンピック競技大会は世界各国から史上最高の参加選手数となり、選手たちは躍動するパフォーマンスとメッセージを人々の記憶に残し、無事閉幕いたしました。

東京大会開催における東京2020組織委員会、東京都、政府関係者の皆様、そしてアスリート・競技団体の皆様、大会パートナーの皆様、ボランティアの皆様及び多くの関係者の皆様には、大会1年延期とコロナ禍の中で安全安心の大会開催とするために、過去に全く例のない大変な準備作業と不断のご努力をなされ、東京2020大会開催が成し遂げられましたこと、心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

私ども、日本財団パラリンピックサポートセンター（パラサポ）は、東京大会開催を一つの契機として、パラリンピック競技団体の基盤強化、パラリンピック、パラスポーツの普及、そしてダイバーシティ&インクルージョン（D&I）を推進すべく2015年5月に設立しました。

同年11月にパラリンピック競技団体や関係団体の皆様との共同オフィスを日本財団ビル4階にオープン、2018年6月にはパラアスリートの皆様がいつでも自由に思う存分練習していただくためのパラスポーツ専用体育館「日本財団パラアリーナ」の運営を開始しました。パラスポーツを通じた教育・研修プログラムの開発と実施にも力を入れ、参加者も全国40万人を超えました。

東京2020大会期間中は、WEBメディア「パラサポWEB」や公式SNSを通じ、パラリンピックの魅力を一人でも多くの方にお届けしたいとの思いから、徹底的に情報発信を行ってまいりました。「パラサポWEB」は約620万ページビュー、公式SNSは約1億インプレッションと、このようにたくさんの方々からアスリートの皆様の素晴らしい活躍を楽しんでくださったことは本当に嬉しく、心より感謝申し上げます。

約半年後の3月には北京2022冬季パラリンピックが、3年後の2024年にはパリ2024夏季パラリンピックが開催されます。

当センターは、東京2020大会閉幕は終わりではなく、“スポーツを通じて社会を変える”新たなスタートとして捉え、パラサポの運営と活動を今後も恒常的に継続してまいります。

パラリンピック競技団体とアスリートの皆様とともに、「何ができないかではなく、何ができるか」という視点でチャレンジを続けてまいりますので、今後とも引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2021年9月9日

公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター  
会長 山脇康